

「ロボット研究における研究連携」

愛知万博で多様なロボットが大活躍をして、未来技術が急に身近なものとなりました。万博に触発され、7月には、7種の開発途上の建設ロボットがインテック大阪でデモを披露いたしました。苦渋作業を強いられる、建設や介護の分野へのロボット導入は焦眉の課題です。

ロボット研究を効率的に推進するためには、ロボット研究者の連携が必須です。ロボットの議論をする場として、公式な委員会は多々ありますが、研究者が自由に討議する場は皆無です。

今般、筑波大学油田副学長、NPO 国際ロボフェスタ協会(中野栄二会長)のご支援を得て、定期的なロボット雑談会を計画致しました。

9月21日(水)に、下記テーマで第1回目研究会を開催いたします。話題提供は、山彦プロジェクト、山祇研究会など研究連携をご指導されている筑波大学油田副学長にお願い致します。ご興味をお持ちの方、お誘い合わせご参加ください。

・・・ 記 ・・・

日 時: 2005年9月21日(水) 午後7時から
場 所: サロン「集&YU」 港区西新橋2-13-6 ミタニビル3階
電話 03-3504-2387(地図:<http://www.shu-yu.net/map.html>)

テーマ: 「ロボット研究における研究連携」

講 師: 筑波大学副学長 油田 信一氏

会 費: 3000円(飲み物・おつまみ付)
2500円(国際ロボフェスタ協会及び集&YU会員)、2000円(学生)